

# 漁業系廃棄物対策促進事業

平成29年度補助事業 予算額：14百万円

漁業系廃棄物のリサイクル手法の普及、実証試験及び漁業系廃棄物を固形燃料化し、ボイラーなどの燃料として活用するための技術開発等を支援した。

これまでに開発した漁業系廃棄物の減容・リサイクル手法の普及を行い、現場での実証試験により、更なるコスト削減を図った。また、漁業系廃棄物の現地固形燃料化・現地消費のための技術開発を実施した。



漁業系廃棄物の運搬費はコストの約2割



廃発泡スチロールの減容技術開発



現場での技術普及・実証試験



廃発泡スチロールの固形燃料化



固形燃料を利用するボイラーの開発



漁業者がボイラーの温熱を水産物の加工などに活用するための技術開発・実証試験を実施